

## < 2月第二(事務)例会議事録 >

- ・日時：2018年2月1日(木) 19:00～21:00
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：合田、佐伯、館、達、田辺、丹家、長坂、中村、野呂、藤井(信)、藤井(久)



### 1. 報告事項

- (1) YMCA幼児教室餅つき  
1月30日(火) 8:30にYMCA玄関ホールに集合し、準備の後、YMCA幼稚園に入園前の幼児約20名と保護者を対象とした餅つきに協力した。  
参加者：杉本、長坂、中村、野呂
- (2) 第21回西日本区大会「登録のしおり」配布
- (3) 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブのブリテン12月、1月号配布
- (4) 2017/2018次期国際会長選挙田辺会長が投票
- (5) ピンクティーシャツ販売(メネット事業支援)  
注文した人は7名。

### 2. 協議事項

- (1) 台湾高尾ポートクラブへの新年挨拶状  
新年例会時の集合写真に全員がサインをして送った。
- (2) YYフォーラム  
2月10日(土) 13:00～17:00  
神戸YMCA三宮会館 申込み2/2(金)迄  
出席予定：杉本、館、田辺、長坂、中村、野呂、藤井(久)
- (3) ベルマーク、インクカートリッジ回収箱設置について、神戸YMCAの広報誌にベルマーク商品提供活動の記事掲載を依頼する。
- (5) 3月例会(3/15) フルート演奏会  
ポスター、会場準備、学園都市会館の3階多目的ホールを予約。3/15多目的ホールは体操教室が18:30まで使用。部屋へのイスの運び込みは、18:30以降。子ども園から借りられるイスは40脚まで(3/16卒園式のため)。  
☆3/15 40脚のイスの搬出作業を13:00と18:00の両方に分けて行う。  
☆3/16 卒園式終了後、13:00以降でイスの返却作業を行う。
- (6) 今後の例会  
・ワインの話 2月15日(木) 会場準備、軽食  
買い出しは17時集合、岡山クラブより数名が来訪される予定。会費1,500円

- ・華道 4月19日 鯖尻広報事業委員長(宝塚クラブ)
- ・5月17日 未定
- ・6月21日 評価と計画

### 3. その他報告・協議事項

- ・YMCA、各役員、各委員、ホームページ更新
- ・YMCA中日本地区の東日本大震災および熊本地震の被害者支援事業として、4月14日(土)の甲子園でのYMCA協賛試合阪神×ヤクルト公式戦に、被災者100名を招待する計画である。詳細は別途決定後に報告する。

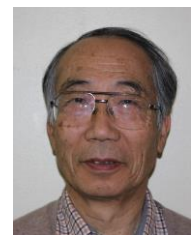
### 4. 今後の西日本区・六甲部行事予定

- ◎ さんだクラブ・バレンタインコンサート(クラシックピアノ) 2月3日(土) 14:00～ 郷の音小ホール
- ◎ 西日本区中西部・メネットアワー 2月17日(土) 14:00～ 大阪YMCA土佐堀会館
- ◎ 京都グローバル25周年記念例会 3月3日(土) 杉本、田辺、野呂、藤井(久)
- ◎ 名古屋クラブ70周年記念例会 3月4日(日) 杉本、藤井(久)
- ◎ 六甲部評議会 3月24日(土) 神戸YMCA、グリーンヒルH ¥3,000
- ◎ 「きらりと輝くアート展」4月28日(土) 10:00～、神戸YMCAにて
- ◎ 神戸ポートクラブ創立30周年記念例会・被災地復興支援チャリティーコンサート  
4月28日(土) 13:30～  
第1部：神戸YMCA三宮会館チャペル、  
第2部：グリーンヒルホテル神戸  
(会費6,000円、コンサートのみ2,000円、懇親会のみ5,000円)
- ◎ 第21回西日本区大会 6月9日(土)・10日(日) ANAクラウンプラザホテル神戸

## < キッズプレイランド新年餅つき会報告 >

### 会長 田辺征一

昨年末、キッズプレイランドの子どもたちにクリスマスのお話をした折、担当の河田怜美さんから1月30日の新年餅つき会への協力要請をいただいた。当クラブから風邪気味の1名を除き4名がかけつけた。



幼児たちと保護者も参加してのもちつき、幼児たちひとり一人も杵を握り、中村さんの介助のもと餅つきを体験しました。

キッズプレイランドは、制度上一時預かり保育の一環で、幼稚園に入る前の2歳児を保育している。補助金もそれほど大きくはない。現在は、3クラス21人を預かり、保育は週3日の午前中おこなっているとのこと。3歳からは引き続きYMCAの幼稚園・保育園に進学することが期待されており、そのために、保育の先生たちは頑張っておられます。

今後とも、支援できれば幸いです。



### < 新年例会報告 >

会長 田辺征一

2018年幕開けの1月例会は、丹家ワイの紹介で三宮のイタリアンレストラン「クレド」で行われた。開宴に先立ち、野暮なこととは知りつつも10分ほど事務連絡をさせていただいた。最近の六甲部はやけに忙しい。連絡に漏れがないか、全員に周知されているか、



などインターネット社会の落とし穴に絶えず注意が必要である。

最初に、IBCの台湾高尾クラブから送られた新年祝賀カードを見ていただき、当クラブからの旧正月祝賀の返信カードに全員がサインをした。

大きく2テーブルに分かれて会は始まった。ワインがのどを通るほどに舌も滑らかになり、話に花が咲き大いに盛り上がる。前菜に始まりデザートまで、料理が何品出たか今となっては定かでないが、学園都市クラブに関わるようになり、グルメの皆様ののおかげでおいしいものに出会わせていただき幸いです。

今年も、各自の持てるタレントを生かしてYMCAに奉仕するクラブでありたいと思います。

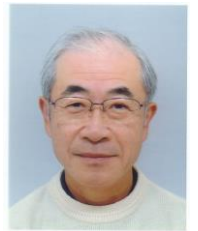
会の終わりに、高尾クラブに送る集合写真を撮り、お開きとなりました。当日の出席は、メン13名、メネット4名でした。

### < ANA チャーター便で行く

#### スイスゆったりアルプス3大名峰と 氷河特急デラックスシート9> (第7回 丹家元陽 メン

7月16日(土)

スイス最後の日。「グリュイエールのチーズ工場と世界遺産ラヴォー地区のワイン試飲体験」の出発はAM10:00。まだまだ時間があるので朝食後、地下鉄に乗ってみる事にした。



ホテル近くの駅からレマン湖の舟着場にある終着駅「ウシー駅」まで約10分。途中4つの駅があるが次の駅まで200~300mで、すぐそこに見える。2両編成でポートライナーと同じ自動運転で急坂を下る。ウシー駅下車。どの駅にも改札はなく駅員さんも見当たらないが、みんなちゃんとキップを買って乗り降りしている大人の国。

白鳥が遊ぶ湖畔を左手に歩いて行くとオリンピック博物館がある。AM9:00 開場なので外を散策。自転車競技、ザトペックの走っている像、レスリング、等々の彫刻があり本物の砲丸もある。男約7.5kg、女約4.5kgで約22m以上投げるといふ。片手で持つだけで重く、精精2~3mが関の山の感じ。入口前にあるのが走り高跳びのポールとバー。なんと世界記録2m34cm。オリンピック記録2m29cm。とんでもない高さで両手を挙げてはるか上。リオオリンピック前なので、その高さに感激!

バスはレマン湖の北側を東に走り、スイスを代表する世界企業ネスレ本社の横を通り、グリュイエールまで約1時間。周囲はブドウ畑と牧草地。所々に牛達がのんびりと草を食っている真にスイスという風景。

小高い丘の上に小さな街がありレストラン、土産物店

が並ぶ。そして更に登った所に11世紀に建てられたグリュイエール城があり、中は博物館になっている。

しばらく散策後、街のレストランで昼食。まずは前菜にたっぷりの野菜と共にキッシュ。メインは子牛肉のシチュー風でミックスベジタブルとライス添えで本当においしく白ワインが合う。デザートはクリームチーズをメレンゲに付けて頂く。

さあ、次は丘の麓のチーズ実演製造所見学と試食へ。オーディオガイドを聞きながら、巨大タンクで牛乳を攪拌し、しばり、チーズを造る工程を見学。試食は6ヶ月物、8ヶ月物、12ヶ月物とある。どれも、その時の風味があり美味。そして、熟成する毎にコクが出て塩味も少し増して成程と納得。このグリュイエールチーズは特に有名でフォンデュには必ず入り、パンとの相性も抜群。勿論十分に熟成した物をゲット。帰国後のワインとのコラボが楽しみ。

に向かったのがローザンヌへの帰途にある世界遺産ラヴォー地区のワイナリー。レマン湖の北斜面に広がるブドウ畑には3つの太陽があるという。まず1つ目は本物の太陽。2つ目はレマン湖に反射する日光。そして3つ目はブドウ畑の石垣からの輻射熱が上質で甘いブドウを育む。この斜面は急なので全て手作業での重労働。約80%が白ワインとなり上質のワインに仕上がる。でも、ほとんどがワイン好きの地元で消費されて、外に出回らないのは真に残念。小さなワイナリーだがワインセラーに入るとひんやりと心地良い。テスティング用のグラス(これ

は頂ける)を持ち、樽から直接頂く。そしてその樽には絵画好きの先々代が家族の姿をユーモラスに描いていて楽しい。テラスに戻り、白2種類、ロゼ1種類を頂き、ほんのりと酔ってきた頬にレマン湖から吹き上がってきた風が心地良い至福の時間。ここでスパークリング1本、白2本をゲット。

いよいよ帰国の時がきた。GENEVE 国際空港まで約1時間のバス。途中レマン湖の向こうに真白なモンブランがくっきりと見え、我々のこの素晴らしい旅の最後を締めくくってくれて大満足。チェックイン後、スイス国鉄御用達の白い文字盤に黒い字、赤い秒針で有名なMONDAINEの卓上型時計をスイス土産に購入。そして、いつものように機内持込用のスーツケースに日本では中々手に入らないスイスワイン7本を仕入れて、全て完了。

チューリッヒ着後、約10コースに分かれて旅行していたメンバーが再度集合してPM8:00 ANAチャーター便はジュネーブを離陸。チキンムースと黒トリュフのテリーヌ、シュリンプカクテル、生ハム、スモークサーモンをシャンパンで。メインはチキンのグリル、ココナッツカレーソースに法連草とライス添えには赤ワインが必須。アップルパイのデザートもそこそこに夢の中へ。

## < 今月の聖句 >

### 99匹を残して、迷った一匹を探し歩くのではないか。

「あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、99匹を野原に残して、見失った一匹を見つけ出すまで探し回らないだろうか。そして、見つけたら、喜んでその羊を担いで、家に帰り、友達や近所の人々を呼び集めて、『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください』と言うであろう。言うておくが、このように、悔い改める一人の罪人については、悔い改める必要のない99人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にある。」

(ルカによる福音書15章4～7)

羊は力も強くなく、角も<sup>つ</sup>なく、足も速くない。羊が安全なのは羊飼いのもとにいるときだけ。「**門番は羊飼いの門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す**」(ヨハネ福音書10章3～4)とあるように、もし羊飼いの声を聞き逃すと迷子になる羊がいる。

百匹のうち一匹が姿を消した。よい羊飼いは「99匹もいるから、一匹くらいいなくてもいい」とは思わず、99匹の羊をその場に残して、見失われた羊を探しに行く。そして、その一匹を無事連れ戻したことに何にも勝る喜びを感じる。よい羊飼いは神でありイエスだ。「**これらの小さな者が一人でも滅びることは、天の父(神)の御心ではない**」一人づつがかけがえなく大切なもの。どんなに小さくても、弱くても、一人づつに価値がある。「一人」を大切に、一人ひとりとかかわる。イエスはそのことを何よりも大切にされた。

～ 齋藤 孝 著 「声に出して読みたい新約聖書」草思社より ～